

Bauhaus. Project



Architecture
Presentation

architect
Junko Akamatsu

fantastic design
First class architect office

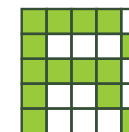


2017年度 [建築家住宅] 供給戸数 全国No.1

※建築家住宅(建築士の資格を持つ独立した建築家により基本設計された住宅)
主要供給事業者9社における2017年度供給数
(株)矢野経済研究所調べ/2018年10月現在



建築家と建てる家を、
身近に、手軽に



R+house



担当建築家



赤松 純子

Akamatsu junko

fantastic design 一級建築士事務所@東京

住まいは、身体を包む服のように暮らしを包んでいるもの。
どのような空間で過ごすかで、毎日の暮らし、日々の気持ちが変わります。
家族の気配が感じられる空間、効率のよい動線、
さりげない居場所を作ることが大切に設計しています。
何よりも大事なことは、家づくりを楽しむ事、出来た家を慈しむ事です。

Profile

1970 年	東京都生まれ、ザイールにて幼少期を過ごす
1994 年	スペイン・バルセロナにて技術研修
1996 年	横浜国立大学院を卒業
1996 年	伊東豊雄建築設計事務所
1997 年	株式会社 日本設計
2001 年	fantastic design 一級建築士事務所 設立

デザインの素晴らしさ&長持ちするデザイン

今の日本の住宅の寿命は約 30 年というのが普通です。

ちなみに、アメリカでは 70 ～ 100 年以上、イギリスでは 100 ～ 120 年以上。

建物の設計や住まい方次第で、家の寿命を延ばすことは可能なんです。

日本と欧米、なぜこんなに違いがあるのか？

欧米では、ライフスタイルに合わせ自由に変更できる家なので、
お金もあまりかけずに、生活に合った良い暮らしをしたり、子どもの世代に受け継いだり・・・
そんな良い循環ができていますので建物の寿命が長いのです。

実際に、何十年も前にデザインされた建築や家具が今の時代でも愛され続け、
価値のあるものとして受け継がれています。



1904 年
バレルチェア



1920 年代
LC2/LC3 ソファ



1929 年
バルセロナチェア

近代建築の三大巨匠

▶ ミース・ファン・デル・ローエ
1931 年 サヴォア邸



▶ フランク・ロイド・ライト
1936 年 落水荘



▶ ル・コルビュジェ
1951 年 ファンズワース邸



建築家の高度な設計スキル

お客様のライフスタイルにあった設計をする上で重要なことのひとつに
『動線』を考慮することがあります。

動線とは、家の中を自然に動くときによく通る通路のこと。

普段の生活で朝の忙しい時間帯や、夜の家族でくつろぐ時間帯での
動線、炊事・洗濯・取り入れ・お風呂・就寝の準備など
家事をする時の動線、来客があるときの動線など、その家族に合った
動線を計画する必要があります。



お父さんの部屋

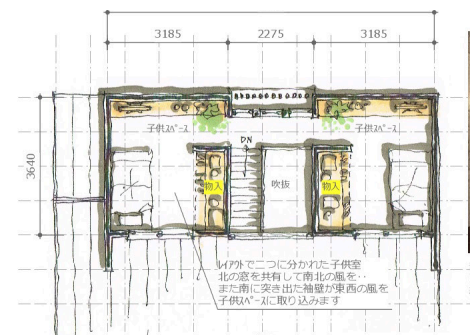
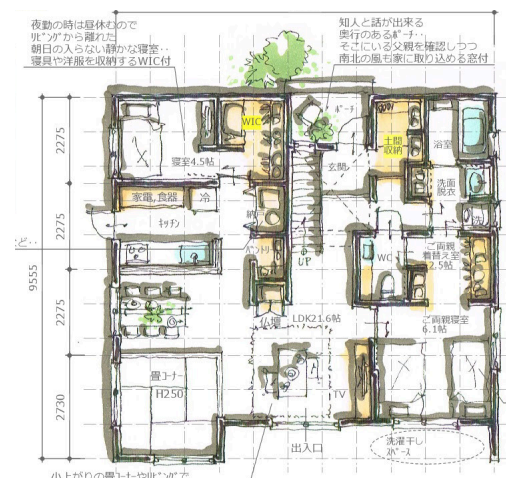
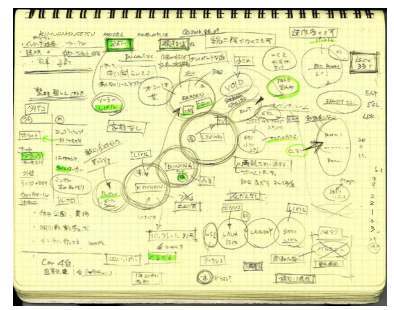
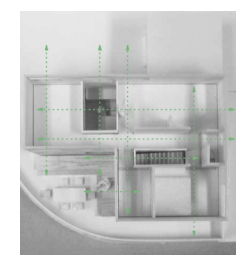
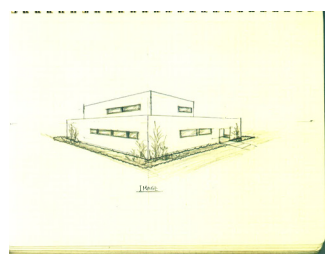
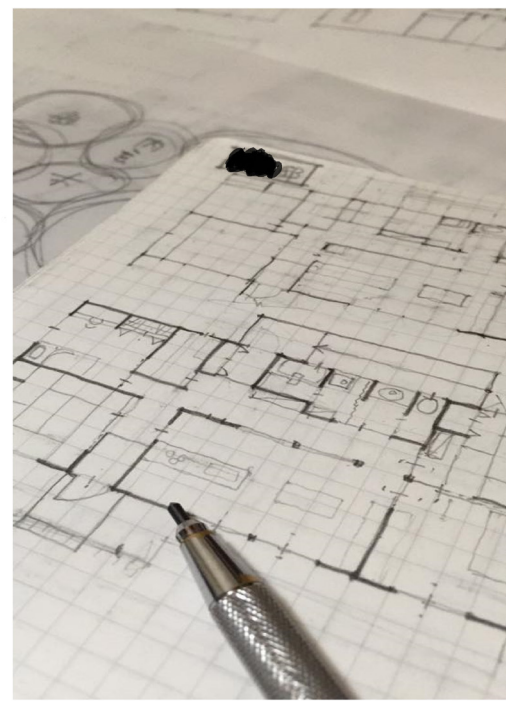
お母さま様にご指示いただいたように、南東に配置し、南側の窓は、掃き出しとしています。また、LDKへ行く南口、お父さまの部屋と行き来する南口は、不機嫌なように中庭南口となる引取りにしています。また、お父さまが、持て行きたいと考えてみるもの、とて多岐にわたる。例えば、8帖の広さを確保したいということにしています。また、お父さまの部屋は、今から把握していただく方がよいと思いましたが、一応ある程度、配置してみました。お父さまは、パワウスの最大限を確保しています。お父さまは、ソファをL型のタイプに、かなり狭いですが、置くかどうかが決まれば、お父さまは、ソファをL型のタイプに、このように置くか、BOXを置くかは、参考にして下さい。

お母さんの部屋・押し入れ

お母さま様、ご指示いただいた位置に配置しております。お母さま様、LDKへ行く南口、お母さまの行き来する南口（お父さまの部屋）は、中庭へ南口となる引取りにしています。また、お母さまの部屋は、今から把握していただく方がよいと思いましたが、一応ある程度、配置してみました。お母さまは、パワウスの最大限を確保しています。お母さまは、ソファをL型のタイプに、かなり狭いですが、置くかどうかが決まれば、お母さまは、ソファをL型のタイプに、このように置くか、BOXを置くかは、参考にして下さい。

全体の配置とい

お母さま様、ご指示いただいた位置に配置しております。お母さま様、LDKへ行く南口、お母さまの行き来する南口（お父さまの部屋）は、中庭へ南口となる引取りにしています。また、お母さまの部屋は、今から把握していただく方がよいと思いましたが、一応ある程度、配置してみました。お母さまは、パワウスの最大限を確保しています。お母さまは、ソファをL型のタイプに、かなり狭いですが、置くかどうかが決まれば、お母さまは、ソファをL型のタイプに、このように置くか、BOXを置くかは、参考にして下さい。



敷地を読む

樹木は同じ種類でも同じ形のものは一つありません、枝ぶりも違う。

それは生えている場所が違うからです。

住宅も同じです。敷地に溶け込むデザイン、自然の風・光を利用するデザインになるべきなのです。

建築家は、まず敷地を見て、その中でお客様の要望を入れて全体的にデザインしていきます。



建築家 藤本誠生建築設計事務所@熊本 藤本誠生



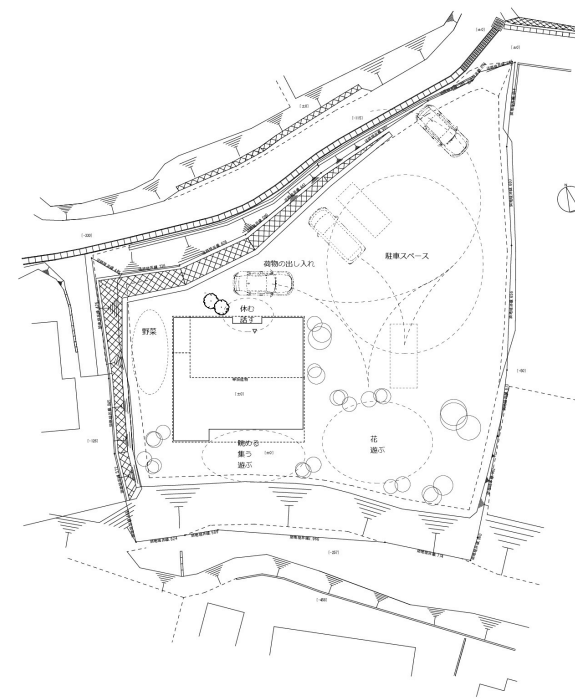
建築家 スギハラ建築設計事務所@広島 杉原豊実



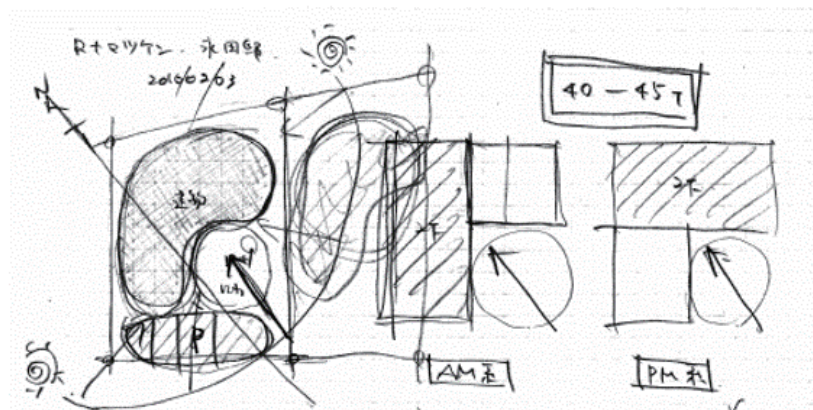
建築家 小川建築設計事務所@山口 小川真一郎



建築家 小川建築設計事務所@山口 小川真一郎



光・風・周辺の交通量・車が多いか・
人が良く通るか・昼夜のギャップ・隣家と距離感・
隣家の窓・玄関位置・どんな部屋なのか土地の
個性を考え、間取りや窓の位置は必ずその敷地に
合わせて作りこまれています。



ヒアリング力と提案力

建築家と住宅会社の設計担当者とは、家づくりに対するアプローチが全く違います。

例えば・・・

LDKは何畳欲しいですか？
和室は何畳欲しいですか？

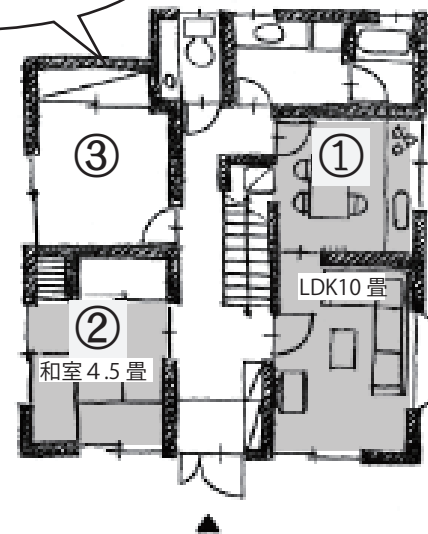
①リビングとダイニングは分けて全部で
12畳くらい欲しいです！

③洋室も1つ欲しいな

②和室は5畳あるといいなあ・・・！

空間の寄せ集めプラン

ご希望どおりのプランを作成しました。
いかがでしょうか？最高でしょう？



一見、要望を聞いてくれて反映させてくれているように感じますが、
これは要望をパズルのように当てはめただけの【空間の寄せ集め】になります。
それは、本当にお客様にとって最適な間取りなののでしょうか？

建築家は、こう聞きます。

「目をつぶって想像してください。建てた家で何をしている光景ですか？」

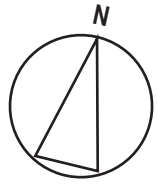
その答えが、一番やりたいことです。そのライフスタイルを実現してくれるのが建築家。

簡単にヒアリングされて出てきた間取りと、しっかりヒアリングされプロの建築家の知恵が反映された
結果とは違います。



さあ、建築家の提案を見てみましょう→

配置計画



建築家の解決ポイント①

敷地の2か所が道路に面しているという敷地のメリットを最大限に生かした配置計画。将来的にはお子様が車を持つことも考えて、4台分の駐車スペースを確保。普段は玄関側に2台停めて、来客時などは西側の駐車場を使用することが出来る。

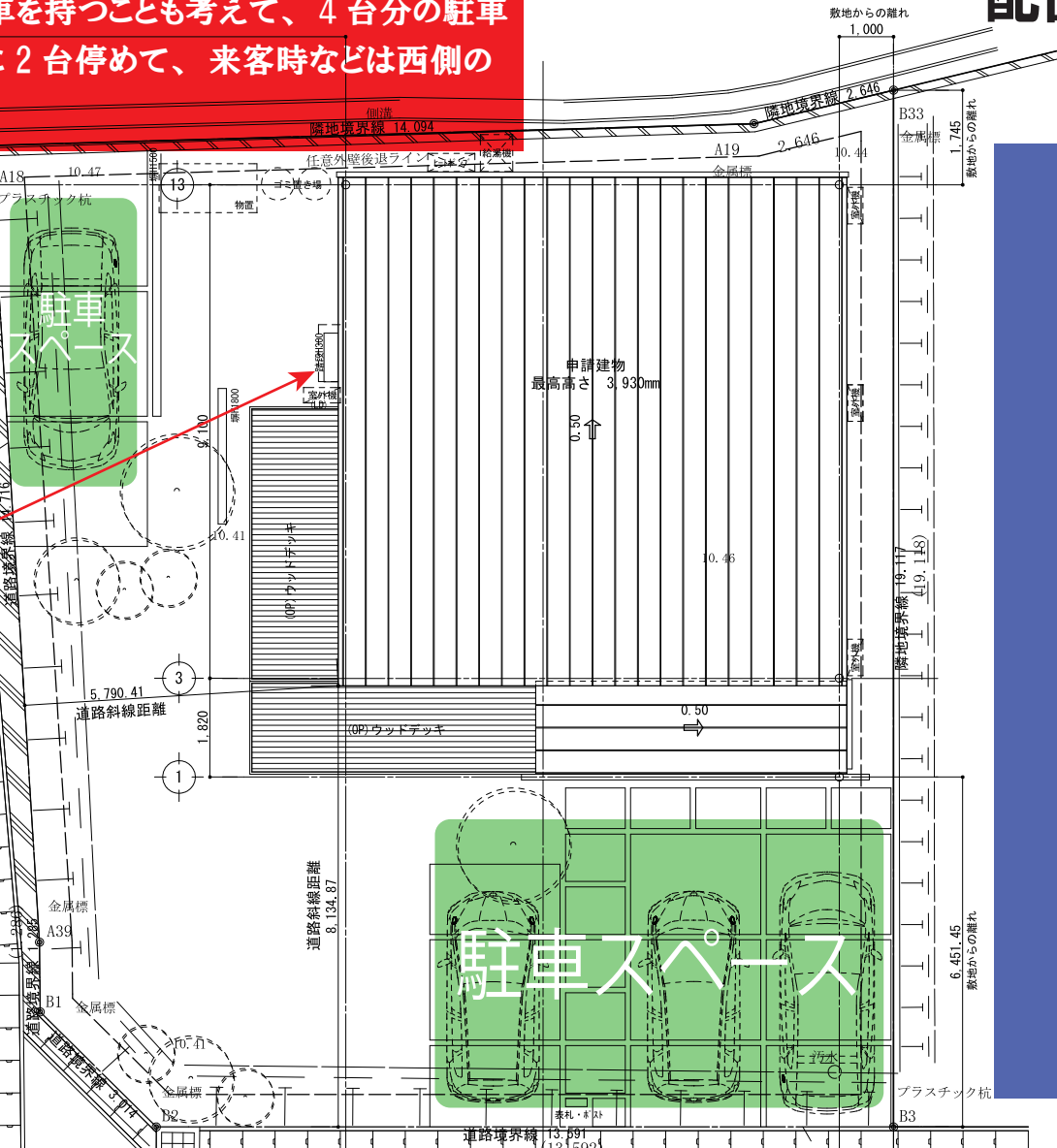
子供が泥だらけになって帰ってきても大丈夫のようにしたいですね。今住んでるところはお風呂場まで行くにはリビングを通らなければいけないので、玄関から抱っこして運ぶのが大変で・・・

建築家の解決ポイント②

お風呂の近くに勝手口を配置。お子様が思いっきり遊んで泥だらけで帰ってきても、リビングを通らずにお風呂に直行することが出来る。

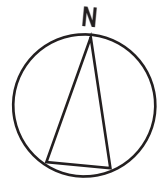
建築家の解決ポイント③

日当たりのいい南側をお庭と駐車スペースとして確保。南側には隣家もないので、プライバシー面も安心。



隣家

1st floor



帰宅時間が遅いので、冬場は洗濯物を室内にほせたらいいな！



勝手口とバスルームの間にランドリースペースを設けました。洗濯物を洗い終わったら、そのまま室内に干すことができるので時短にもなりますよ。



夜勤明けで帰ってきたときに、ちゃんと休めるような場所がほしいなあ。
今住んでいるところは、間取りの関係上妻と子供たちが遊んでる声が気になって眠れなかったりするので（笑）



お家の奥まったところに主寝室を配置しました。お子様たちが遊ぶ場所から少し離れたところにありますので、お休みの日も家族全員が心地よく過ごせるかと思います。



ありがとうございます！
あとは、子供たちが思いっきり遊べるようなスペースがあるといいなと思って。ハンモックとかを付けれるスペースがあると、子供たちも喜ぶそう。



広々としたスペースを子供部屋として確保しました。ご要望のハンモックは、この梁に付けることが出来ます。今はまだ個人の部屋が必要な年齢ではありませんので、ここでのびのびと遊んで頂ければと思います。将来的には二部屋に分ける事が出来ますので、家族の成長やライフスタイルの変化に合わせて使うことが出来ますよ。



子供たち、すごく喜んで遊びそうです！
ハンモックも2か所付けることが出来るので、けんかになることもなさそう。



今の家は、キッチンが壁付けで行き止まりになっているので料理中に子供が入ってきてしまうと注意するのが大変で・・・。
あと、朝は主人がコーヒーを入れてくれる事が多いのですが朝のバタバタしている時に狭いキッチンにいられると、急いでる身としては動きづらくて・・・！それから、子供が活発に遊びまわるので、台所にいる時も子供の様子が分かるようになるといいな。台所と洗濯機の往復をはじめ、毎日の家事が大変なので、動線を楽にもらえるといいな。カフェスペースもあると嬉しいかも。



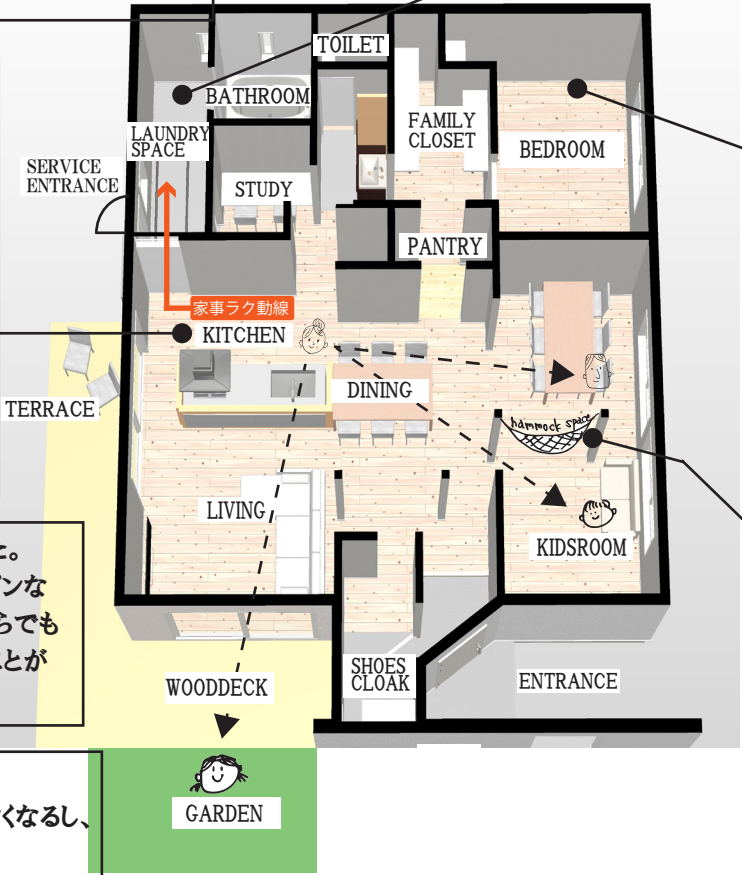
キッチンをアイランド型にしてぐるっと回れるようにしました。お子様がキッチンに入っても、そのまま反対側に抜けてしまえるようになります。アイランド型なら袖壁もないので、ご主人がコーヒーを入れる時は横側で作業してもらいようにすると広々と使うことが出来ます。キッチンの裏にお風呂やランドリースペースを配置して水回りをまとめました。また、キッチン横のウッドデッキに外用のテーブルを置けば、ちょっとしたカフェのテラス席みたいにくつろぐこともできますよ。



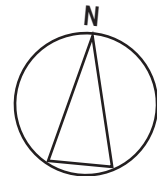
それから、キッチンの向かいをリビングにしました。その先にはお庭もあります。子供部屋もオープンなスペースにしているので、ここで家事をしながらでもお家の中や外で遊ぶお子様の様子を見守ることが出来ますよ。



わぁ～素敵ですね！
これなら子供をキッチンの外へうまく誘導しやすくなるし、主人も私も快適な朝の時間を過ごせそう。
ランドリースペースが近いから、料理中の隙間時間に洗濯物をやつけるのも楽になりそうで助かります。
なにより子供がどこで遊んでいても、見守ることが出来るので安心です。よかったぁ～！！
カフェスペースもありがとうございます！



1st floor



読書が好きなので、本を棚に置けるといいな。
たまに仕事を持って帰って少しでも作業したりするので
そういう場所を作ってもらえると嬉しいかも。子供の勉強
スペースも兼ねれるといいなあ。
あとは、たまに子供達がけんかしてしまったときなど、
別々に落ち着く為の場所もあるといいなと思います。



キッチンの後ろに、書斎のようなスペースを設けまし
た。半個室のような、落ち着くけど家族との繋がり
も感じる事が出来る空間になっています。
カウンターを設けましたので、読書やワークス
ペースとして使ったりお子様の宿題スペースにもなりま
す。もちろん、LDK から少し距離を置きたいときにも
お使いいただけますよ。



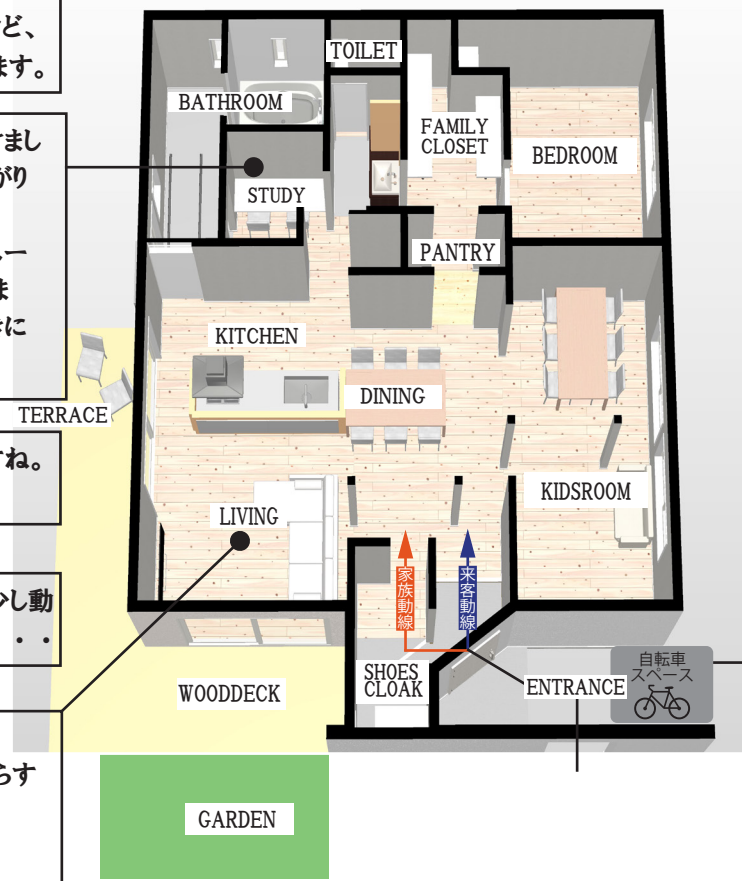
本棚に子供の学校の教科書を置いたりもできますね。
色々と活躍してくれる場所になりそう！



お家の形なのですが、正方形！って感じよりも少し動
きがあるほうがいいかな？と思っているのですが・・・



リビングの上部を勾配天井にしてみました。
普通の天井よりも高さが出るので、広がりをもたらす
効果があります。また、間接照明とあわせると
とてもいい雰囲気を醸し出してくれます。
キッチンからは少し天井を見上げる形になるので、
リビングの大きな窓から外へ視線が抜けて動きを出
しつつ、広く見えるようになります。



子供が中学・高校生になったときに自転車を置く場
所がどこかに欲しいですね。ガレージを大きく作ると
お庭が広く取れないし、畑いじりや BBQ の道具を収
納しておきたいけど、倉庫をおくのもな・・・



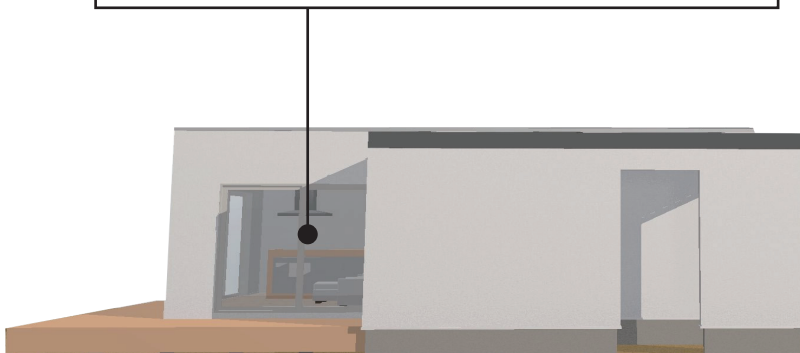
玄関入ってすぐ右側に、屋根付きのポーチのような
スペースを設けました。左側にはシュークロを。
右側は自転車置き場に使用いただけます。
倉庫と違って出し入れも簡単ですし、雨にも濡れな
いので安心です。シュークロには、お出かけ用のコ
ートをかけて置いたり、もちろんお庭いじりの道具や
BBQ セットなどを置くことも可能です。
入り口を家族動線と来客動線の2か所設けている
ので、突然の来客でもすっきりと片付いた玄関を保
つことが簡単です。



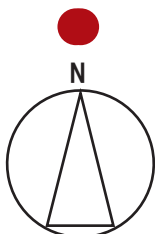
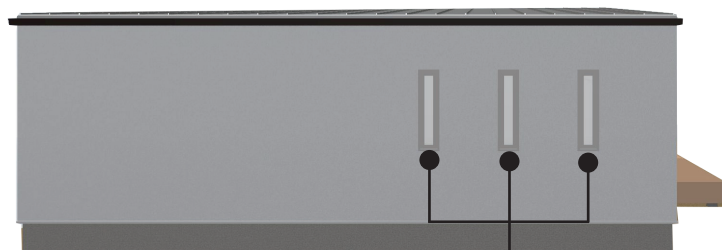
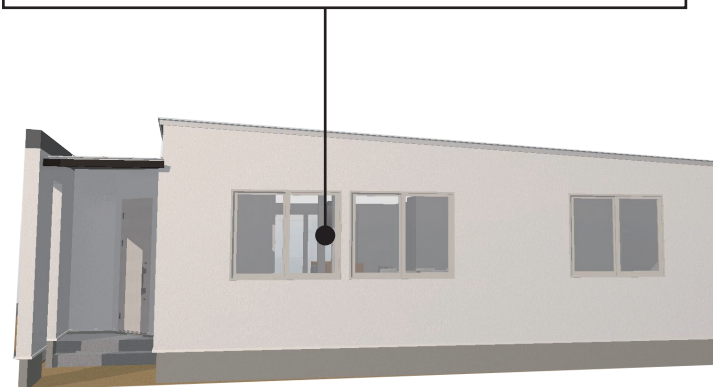
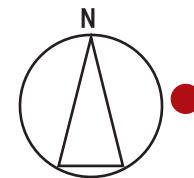
これなら倉庫はいらないですね！
カッコいい外観を崩さなくて済むし、何より便利だし。
収納もたっぷりなのでたすかります。
突然の来客も安心ですね！



南側は大きな窓を設け、庭とLDKに繋がりをもたらし暖かい光をたっぷりと室内に取り入れている。
南側には隣家がない為、開放的ながらもプライバシー性を確保している。



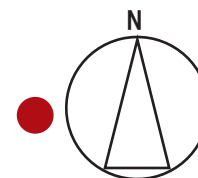
東側。
主寝室側はお布団を干すこともできるよう引き違いの窓を配置。



北側。
お風呂や主寝室など、プライバシー性の高い部屋がある為窓はスマート&少なめの配置。



西側。
テラス側との繋がりをもたらす大きめの窓を配置。
勝手口の手前には外構工事の際に目隠しを設けることで、道路側からの視線を防ぐ。



熊本風配図

・・・とは、ある場所における一定期間の風向の頻度を八方位もしくは一六方位に分けて表し、同時に各風向きの平均風速をも示したものの。

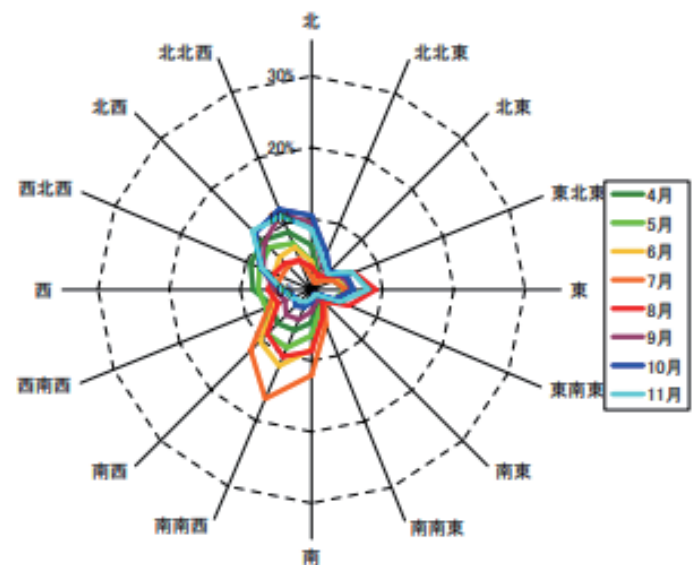


図4a 月別風配図(起居時)

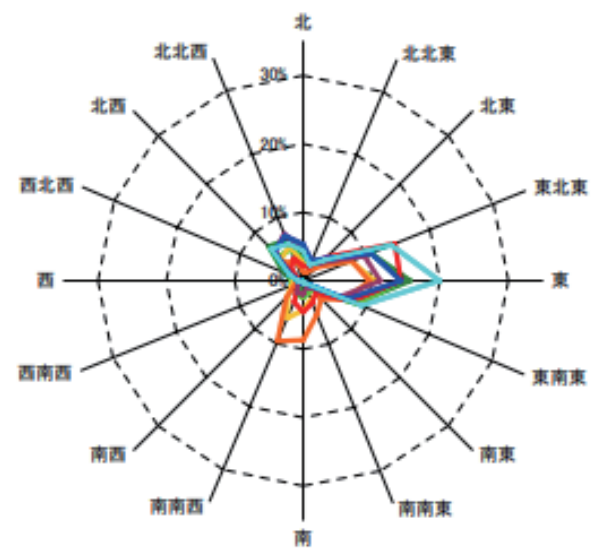
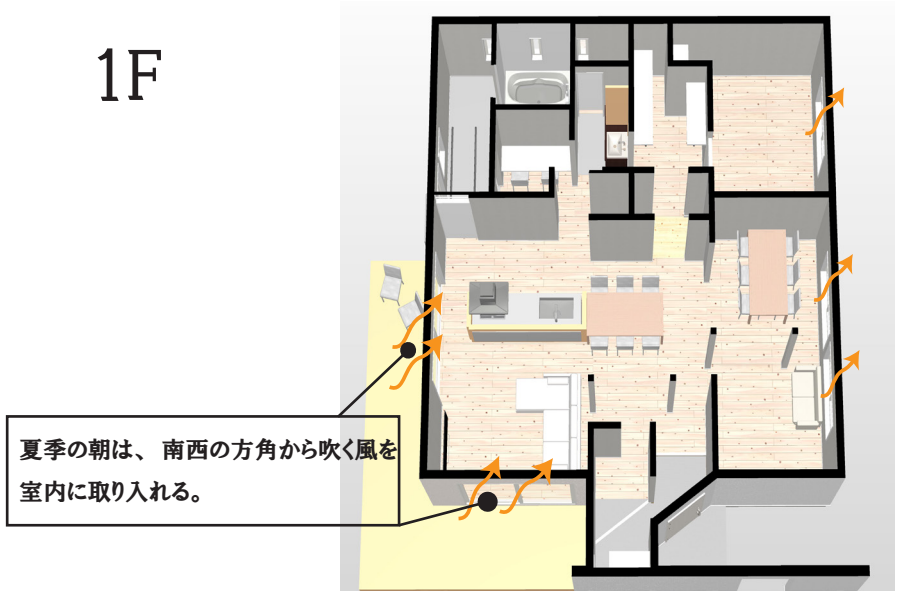


図4b 月別風配図(就寝時)

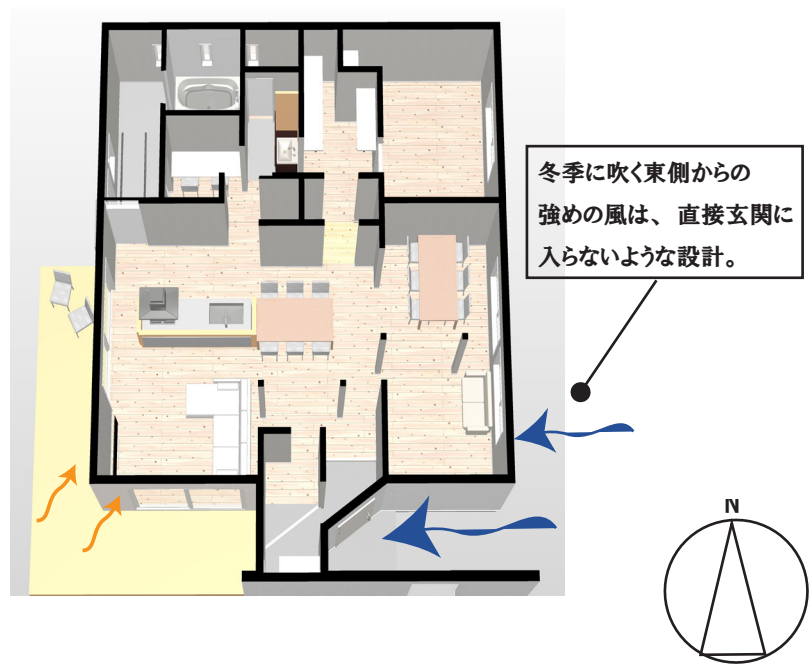
起床時

就寝時

1F



1F

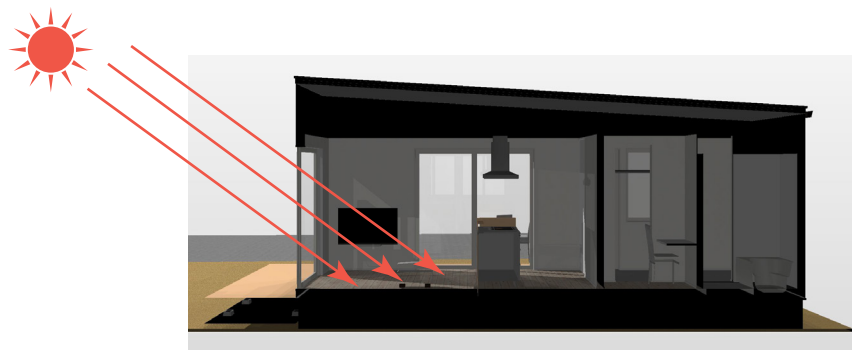


冬は部屋の奥まで光を取り込み暖かく、夏は窓から入る直射日光を避け、涼しく
自然の力を最大限活かしたパッシブ設計。

真冬午後12時



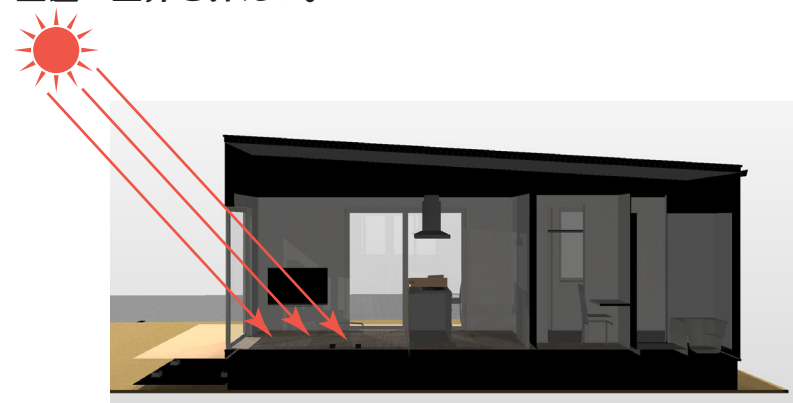
(冬至) 太陽の南中高度（太陽が真南にきて、一番高く上がった時の地平線との角度）が低くなる為、窓から部屋の奥まで暖かい光を取り込むことができる。



真夏午後12時



(夏至) 太陽の南中高度（太陽が真南にきて、一番高く上がった時の地平線との角度）が最も高くなる為、軒を出して日射を遮り、室温の上昇を抑える。



夏と冬では太陽の位置が異なります。建築家は季節ごとに変わる太陽の動きも熟知した上で設計します。